

常任・特別委員会の審査から

常任特別委員会の審査から

企画総務委員会

「用品調達基金条例を廃止する条例」

【説明】用品制度は、物品の規格・品質の統一化、価格の均一化を図るとともに、大量購入による低価格化のメリットがあったが、近年の品目・規格の多様化、品質向上、流通形態の変化等による低価格化が進み、時代にそぐわなくなってきた。大量購入による効果の大きい紙類、封筒類は、別に集中購入しており、また、それ以外は各課において必要なときに業者から購入する流れが定着していることから、廃止を提案するもの。

【質疑応答】品目・規格が多様化し、安い価格で個別の発注が可能となったことから、一括購入のメリットが薄らいだ。品目ごとに絞り込んで入札した場合、品目ごとに業者がかわるなど、かえって事務コスト増になるとの結果となった。加えて、物品保管用の倉庫も不要となり、経費削減が図れる。

【結果】賛成全員で可決

「一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例」

【説明】国家公務員の寒冷地手当に関する法律の改正に基づき本市職員の寒冷地手当に関する規定を改正するもの。支給方法と額の変更を行うもので、額について

ては約40%の減額となる。

【質疑応答】東京都も、同様の内容の条例を平成17年4月1日に施行している。

厚生委員会

「西東京市在住の私立小中学校就学者に対する教育費助成についての陳情」

【趣旨】旧保谷市で行われていた私立小中学校就学者への教育費助成の復活とその早期実施を求める。

【質疑応答】補助の基準は、旧保谷市では昭和55年度から実施して平成11年に廃止するまで最終的には1人当たり年額6千500円を補助。現在多摩地域で実施しているのは3市で、武蔵野市が年額1万4千円、三鷹市が8千円、調布市が6千750円。調布市は来年度に制度の廃止も含めて検討中と聞いている。既存の補助金も見直しを進めている現下の厳しい財政状況では、この事業の早期実現は難しい。

【意見】陳情の趣旨は理解できる。お子さんを私学に通わせる親からすれば、負担する税金が自分たちの子どもへの教育環境には使われないということになり、そうした視点からすれば、一定の支援が行政の姿勢としてあってもいい。検討、研究を求める。

建設環境委員会

「調布保谷線整備における住環境保全に関する陳情」

【趣旨】住環境保全のため住民と行政が全体の問題に

ついて話し合う新たな協議会の設置を東京都に働きかけることを求める。

【質疑応答】これまでの経過としては、平成15年11月に市民と都の協議会が設けられ、5回の協議が開催されたが、交通量予測の条件設定などについて問題が指摘され、都が協議会の中止を宣言した。

陳情者は環境への影響が施設帯だけで防止できるかを心配しており、市としても住民の意向やこちらから情報提供するための方法のあり方を、都と連携をとりながら考えていきたい。

【結果】賛成少数で不採択

「はなバス第5ルートの通行改善に関する陳情」

【趣旨】勤め人のためにも運行時間（早朝と夜7時台）の拡大を求める。

【説明】現状、ひばりヶ丘駅の始発が7時15分、終便が19時で、1日27便の運行車両は1台で、運転手は1人が交代で勤務している。

【質疑応答】1人の運転手の運行時間は基本的に8〜9時間と聞いており、前後1時間程度変更するには運転手が2人必要となる。経費的な問題もあるため、検討を要する。



ひばりヶ丘駅北口階段



ひばりヶ丘駅南口

駅周辺再開発等特別委員会

【結果】賛成全員で採択

「ひばりヶ丘駅北口のバリアフリー化促進に関する陳情」

【趣旨】ひばりヶ丘駅北口にエレベーター・エスカレーター等の早期設置を求める。

【質疑応答】南口とホームのバリアフリー化は完了したが、北口はエスカレーター等を設置するスペースがないため、駅前広場の整備と同時に進めたいと考えている。

今年度は、整備計画策定と都市計画道路3・4・21号線の現況測量、権利者の意向調査等を行う。19年度に事業認可を取りたいと考えているので、エレベーター等の設置はそれ以降になると考える。

昨年基本構想をまとめる段階で、地元でのワークショップ

市議会一口メモ
「審議未了」
議会は会期制のもとに運営され、会期ごとに独立したものとして活動します。したがって、会期内に審議が終わらない案件は、会期の終了とともに消滅します。ただし、議会で継続審査の決定をした場合は、閉会中に委員会が審査を行うことができ、その後の会期で審議することができ

ヨップ、オープンハウス等の手法を用いて情報提供や意見募集を行ってきた。今年度も同様の手法で地元との協議を進めていくつもりだ。
西武鉄道との協議でも、西武鉄道が独自のバリアフリー化はできないということと、北口の駅前広場の整備にあわせて同時に進めるという共通認識を持っている。
駅前広場とバリアフリーの部分の先行して取り組むことは可能であると考え、駅のバリアフリーについては交通施設のバリアフリー化整備事業という国制度を、エレベーター・エスカレーターについては人にやさしいまちづくり事業を適用し、西武鉄道、市、国が3分の1ずつ負担する。なお、用地等については、補助の対象外となっている。
【結果】賛成全員で採択

会議の開催状況

(平成17年7月～9月)

7月	7日	議会運営委員会 全員協議会
7月	20日	駅周辺再開発等特別委員会 議会運営委員会
8月	3日	議会運営委員会
8月	23日	議会運営委員会
9月	6日	議会運営委員会
9月	9日	第3回定例会・本会議(議案等上程)付託、予算特別委員会、議会報編集委員会
9月	13日	本会議(一般質問)
9月	14日	本会議(一般質問)
9月	15日	本会議(一般質問、議案等上程)付託、議会運営委員会
9月	16日	企画総務委員会、厚生委員会
9月	20日	文教委員会、建設環境委員会
9月	21日	駅周辺再開発等特別委員会
9月	22日	予算特別委員会
9月	26日	予算特別委員会
9月	29日	本会議(委員会審査報告、議員提出議案上程)議決、議会運営委員会、決算特別委員会

常任委員会の視察

企画総務委員会

(10月13日、14日)

- 愛知県岡崎市
- 教えてくれませんか班
- 電子市役所を目指して

- 岐阜県多治見市
- 組織のグループ制、自治体基本条例、公共工事コスト削減に関する行動計画

文教委員会

(10月17日、18日)

- 福岡県福岡市
- 21世紀の新しい教育が実現できる学校づくり、地域に開かれた学校づくり等
- 福岡県豊津町
- 中高一貫教育における

建設環境委員会

(10月18日、19日)

- 奈良県奈良市
- 地区計画の手続きについて
- 三重県桑名市
- クルクル工房

